

練習の成果を十二分に発揮した年長さんの組体操、年中さんのバルーン演技(運動会NO. 2)



運動会最大の見どころであるのは、各学年の団体演技です。特に年長さんの「組体操」と年中さんのバルーンを使った集団演技「笑一笑～シャオイーシャオ！」は、1学期後半から体操の先生の指導の下、繰り返し練習してきました。

各学年の「かけっこ」の後、いよいよ「組体操」の始まりです。入場門に集合し、太鼓の音を合図に「オー！」と大声を飛ばしながら走って自分のポジションに移動しました。「ドン！」という太鼓の合図で全員が座りました。初めに1人で行なう演技です。「片手バランスやアザラシ、ブリッジ」など見事に決まりました。子どもたちの表情も真剣そのものです。次に2人組「トンネル、親亀・子亀」、3人組「タワー、扇」と続きます。息が合っているので安心して見ていられます。特に「トンネル」では足の指先もきちんと伸びていてとて

もきれいです。次は、練習で一番苦戦していた6人組の「ピラミッド」です。一番上の子が少しふらついた組もありましたが、各組すべて成功しました。さすが本番に強い今年の年長さんです。次は、毎年なかなか成功しない「一本橋」。手押し車の姿勢で、肩のところに前の子の両足が乗ります。幼稚園生にとっては、とてもつらくバランスをとるのも難しい技です。先生方も緊張した面持ちで見守っていましたが、見事に成功しました。最後は「ドミノ」で、全員が上手に前に倒

れることができました。

保護者の方から……「組体操のレベルが上がったようでとても感動しました。あんなにできるんだ……と、嬉しくなりました。」
「組体操は1学期からずっと練習を重ねてくださり、そのおかげで娘も地道に練習を重ねるという経験ができました。家でブリッジの練習をたくさんしました。コツコツ努力した成果を本番で発揮する姿、とても感動しました。」



組体操の後は、年中さんのバルーンを使った演技です。中央に広げられた2つのバルーンめざし、一列での入場です。位置に着き、始まりのポーズをとります。「笑一笑～シャオイーシャオ！」の曲が流れスタートです。

「波→洗濯」などの基本的な動きから、「山→帽子→風船」とバルーンを伸ばしたり膨らませたりする動きへと、子どもたちは上手に操作しています。全員の息が合わないとうまく中央が膨らみません。音楽に合わせるだけでなく、先生の笛も次の演技への重要な合図となっています。「帽子や太陽」では、膨らませたバルーンの上に座ったり寝転んだりします。息が合わないと空気が抜けしぼんでしまいます。「風船→UFO→メリーゴーランド→王冠」と難しい技が続きます。保護者の方からお便りポストで「今まで見たことがない演技がいくつかあった。難しい技にチャレンジしていることがすご

いと感じた。」というご意見をいただきました。初めは上手にできませんでしたが、徐々に友だちと一緒にタイミングを合わせて動かすことができるようになり、本番では大成功でした。最後は「お家(バルーン)の中に入って全員が見えなくなり、「ヤー！」という声と同時に外に出てくるといふ演技で終了しました。バルーンでの演技は、音楽に合わせて動くことで、リズム感や表現力が身につく

だけでなく、協調性やコミュニケーション能力が育つ遊戯だと感じました。

保護者の方から……「バルーンと組体操は例年よりさらにパワーアップしていて見応えがありました。」

【写真】(組体操)一人ひとりの表情からも、真剣に取り組む姿勢がよく分かります。だから、ピラミッドも成功したのですね。

(バルーン)みんなで協力しないといい形になりません。「心を一つに！」をモットーによく頑張っていました。